

再々評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局 地域道路課

担当課長名：瀬尾 俊男

事業名	主要地方道 藤沢座間厚木 線		事業区分	地方道	事業主体	神奈川県						
起終点	自：神奈川県厚木市関口 至：神奈川県厚木市三田		延長	1.10km								
事業概要	<p>主要地方道藤沢座間厚木は、藤沢市から厚木市に至る延長約18kmの幹線道路である。当事業は、厚木市街地に集中する交通を分散させ、交通渋滞の緩和、交通の円滑化を図るとともに、県央地区の東西方向の連携を強化するため、国道129号から（都）厚木バイパス線に至る延長1.1km区間に4車線道路を新設する事業である。</p>											
H4年度事業化	S44年度都市計画決定	H5年度用地着手	H9年度工事着手									
全体事業費	170億円	事業進捗率	69%	供用済延長	0km							
計画交通量	31,000台/日											
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 5.8 (残事業) 30.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 40/206億円 （事業費：39/205億円 維持管理費：0.87/0.87億円）	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,204/1,204億円 （走行時間短縮便益：1,106/1,106億円 走行費用減少便益：88/88億円 交通事故減少便益：10/10億円）	基準年	平成18年							
感度分析の結果	なし											
事業の効果等	<p>災害への備え（神奈川県地域防災計画・第1次緊急輸送路に位置づけ） 生活環境の改善・保全（環境基準超過箇所である金田交差点（国道129号と国道246号の交差点）の大気質改善が見込まれる）</p>											
関係する地方公共団体等の意見	<p>藤沢座間厚木（都市計画道路名：座間荻野線）は、県央地区の東西方向の連携強化、交通混雑の緩和に重要な役割を果たすことが期待されており、厚木市をはじめとする関係者（県議・市議・自治会長）で構成される「座間荻野線建設促進協議会」より早期整備の要望（平成18年7月26日）を受けている。</p>											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	なし											
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>収用による用地取得を行うとともに、中津川渡河部の橋梁上下部工、高架部の上部工工事を順次行い、平成21年度の暫定2車線供用開始、平成24年度完成を目指す。</p>											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>残りの用地（共有地）について、権利者（相続人）の調査に鋭意取り組んできたが、確定できず、土地収用法による権利取得に移行し、必要な手続きを進めている。これらに日時を要し、供用開始（暫定2車線）が遅れる見込みがあるが、国道129号との立体交差工事及び高架部下部工はほぼ完成しており、引き続き高架部の上部工等の工事を進めていく。</p>											
施設の構造や工法の変更等	橋梁構造の見直しにより、事業費を約12億円削減した。											
対応方針	事業継続											
対応方針決定の理由	市街地の円滑な交通の確保や沿道環境の改善のため、厚木市の環状道路の一部を形成し、幹線道路の交通を分散させるとともに、県央地区の東西方向の連携強化を図る本事業の重要性は高く、事業を継続する必要がある。											
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <table border="1" style="margin-right: 20px;"> <tr><td style="text-align: center;">凡</td><td style="text-align: center;">例</td></tr> <tr><td style="background-color: black; width: 20px; height: 10px;"></td><td style="text-align: center;">供用中</td></tr> <tr><td style="background-color: #cccccc; width: 20px; height: 10px;"></td><td style="text-align: center;">再評価箇所</td></tr> </table> </div>						凡	例		供用中		再評価箇所
凡	例											
	供用中											
	再評価箇所											

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。